

部活動(新人戦)等 生徒の活躍

佐久大会

女子バレー部	佐久 8 位 東信大会出場
男子バスケット部	佐久 6 位 東信大会出場
女子バスケット部	佐久 5 位 東信大会出場
男子テニス部 (団体戦)	佐久 6 位 東信大会出場
男子テニス部 (個人戦)	岡本・中澤ペア 佐久 3 位 県大会出場 玉寄・神津ペア ベスト 8 県大会出場
女子テニス部 (団体戦)	佐久 6 位 東信大会出場
女子テニス部 (個人戦)	鯨井・宮下ペア 佐久 3 位 県大会出場
サッカー部	予選リーグ敗退
(柔道) 谷津航太さん	佐久 2 位 東信大会出場
(剣道) 太田桃子さん	2 回戦敗退

東信大会

女子バレー部	予選リーグ敗退
男子バスケット部	1 回戦敗退
女子バスケット部	東信 5 位 県大会出場
男子テニス部 (団体戦)	1 回戦敗退
女子テニス部 (団体戦)	1 回戦敗退
(柔道) 谷津航太さん	東信 3 位 県大会出場

県大会

女子バスケット部	1 2 月末に大会あり
男子テニス部 (個人戦)	岡本・中澤ペア 2 回戦敗退 玉寄・神津ペア 1 回戦敗退
女子テニス部 (個人戦)	鯨井・宮下ペア 2 回戦敗退
(柔道) 谷津航太さん	1 2 月中旬に大会あり



☆佐久市こども議会に参加
平島 柊哉さん ※議長を務めました

☆税の作文 三石 勇太さん
「身近なところで役立つ税金」
佐久納税貯蓄組合連合会優秀賞 受賞

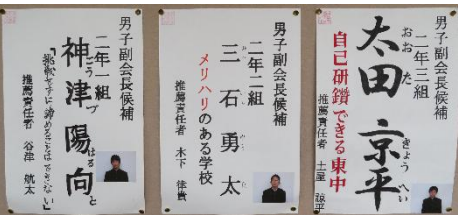
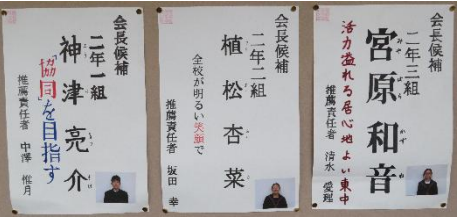
☆ジュニアオリンピック陸上競技
大会【日産スタジアム】
女子 800m 出場 渡邊 陽乃さん

☆陸上部
○東北信地区陸上競技大会 入賞者
女子 800m 渡邊 陽乃さん 1 位
砲丸投げ 谷津 航太さん 2 位
砲丸投げ 河西さゆりさん 3 位
男子 1500m 太田 京平さん 6 位
女子 200m 中澤 雪乃さん 8 位

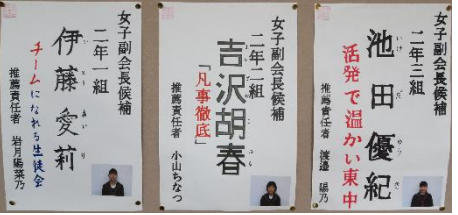
○県中学校駅伝競走大会
男子 5 3 位
女子 1 9 位 北信越大会出場

☆演劇部 演目『タヒムマシン』
○佐久地区中学生合同シアターに参加
☆美術部
○『第 12 回アートクラブグランプリ
in SAKAI 』(個人の部)
高橋 彩夏さん 作品名「未来」 佳作

生徒会引き継ぎ(選挙・生徒総会)



全学級を訪問した候補者・推薦責任者の皆さん。9 名の演説(選挙公約)を聞いて、どの候補者が選ばれても、今の東中の良さを守りながら、生徒会を進化・発展させてくれると確信しました。 ※立会演説会の様子は、次号で紹介いたします。



東中学校だより(4) 平成30年 11月21日

麓あかくそびえて建てり 校歌の一節より

佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel.67-2392



教育課程研究協議会(英語科研究授業)



10月18日(木)、佐久地区の小中学校から集まった英語の先生方(AETも含む)約60名に、3年生2クラスの授業を同時に公開しました。大勢の先生方に囲まれ、ちょっと緊張気味の3年生でしたが、自分の考えをグループの仲間と積極的に意見交換する姿、自校や他校のAETとのやりとりを楽しむ姿が、あちらこちらで見られました。そんな3年生の学びの姿を他校の先生方から、高く評価していただきました。今後も各教科において、その単元でつける力を明確にしながら、継続した学習活動を仕組んでいきたいと考えています。



エストニア共和国サク市から 8 名の中学生が来校

体育(柔道)、国語(書道)、音楽(箏)などの授業を通して交流しました！



けん玉も初体験



エストニアの踊りを一緒にする1年生





特殊なゴーグルを使って、高齢者の視野狭窄や視力の変化を体験しました。



手袋をはめ、掴みづらさや細かな作業のしづらさを体験しました。



高齢の認知症の方と出会ったときに、どのように対応すべきかを学び、練習してみました。



手首、足首、ベストに重りを入れ、高齢化による筋力の低下が日常の動作に与える影響を学びました。



耳栓をし、聞きづらさを体験しました。また体を支える杖の役割を学びました。



まとめの会で、お世話になった講師の方々に、お礼を述べました。

2年 職場体験学習 2日間、40の事業所へ！

佐久市・小諸市内の事業所での実習を通して、働くことの意義や喜び、厳しさを体感しました。



3年 ボッチャ体験



ボッチャは南ヨーロッパで生まれ、今では世界選手権をはじめパラリンピック大会の競技種目に採用されています。2チームに別れ、最初に投げた的ボールをめがけて各プレーヤーがボールを投げます。全部投げ終わった時点で、的に一番近いボールを投げたチームが勝ちとなる、わかりやすいルールです。



長野冬季パラリンピック銀メダリストで、障がい者スポーツの普及に携わる加藤正さんをお招きし、3学年全員で初体験のボッチャを楽しみました。



3年 赤ちゃんふれあい体験



思春期・赤ちゃん体験学習会	
13:40 あいさつ	★スタッフ紹介 ★本日の流れについて
13:50 DVD「赤ちゃんの五感」	
14:00 赤ちゃんの抱き方	
14:10 ～ 10分交代 ～	
①抱っこグループ	②妊婦体験
・健診参加者へのあいさつ	・妊婦体験ジャケット
・抱っこ体験	
・お母さん方とのお話	
・お礼	
14:40 まとめ	③胎児モデル
15:00 終了	・赤ちゃん人形に触れる
	・お腹の中の赤ちゃんの様子
	・妊婦中の身体の変化の話



少子化で乳幼児と接する機会が少ない中学生に、命の大切さを知ってもらい、自分も大切に育てられたことを実感してほしいとの願いで、2005年から始まりました。市内で3年生全員が実施しているのは、東中のみ。赤ちゃんを抱くのは初めてという生徒が多い中、体験を終えると「かわいかった」「いいにおいがした」と、赤ちゃんに魅了された様子でした。妊婦ジャケット着用体験では、「お母さんがこんなに苦労しているとは知らなかった」「電車やバスで妊婦さんを見かけたら席を替わりたい」などの感想が聞けました。